



美・三・未



ひたちなか市立美乃浜学園
学校だより第10号
令和7年1月6日

チャンスをつかむ”～本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます～



昨年は保護者の皆様をはじめ、地域の皆様には本校教育活動にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年も、教職員一同力を合わせて、子供たちの健やかな成長と地域と共に歩む教育活動を推進して参ります。今後とも皆様のご理解ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、外国には、『チャンスの神様は前髪しかない』ということわざがあります。目の前に来たらその前髪をすぐにつかまないといけません。チャンスの神様は後ろの髪の毛がないので、もし通り過ぎてしまったら絶対につかめないからです。チャンスが来た！と待ち構えてつかむ気持ちがあるかないか、さらにつかもうと行動したかどうかで、結果が変わってしまいます。迷っているうちにチャンスは目の前から一瞬で逃げて行ってしまいますのです。

ドジャースの大谷翔平選手は、史上初の50-50達成など、昨年移籍した新しい球団でこれまで以上に活躍することができました。けがを乗り越え、どれだけ練習や努力、様々な取組を積み重ねてきたことでしょうか。この移籍については、今まで蓄えてきたことが芽吹きチャンスを活かしたと言えるのではないのでしょうか。移籍した時に語った『勝つことが今一番大事な事。ワールドシリーズ優勝を目指す』という目標に向かって、チャンスを活かし努力し続けてきた結果だと言えるでしょう。小学校・中学校時代は、大きく羽ばたくための準備のとき。まずは自分の好きなことを見つけ、行動していくことです。チャンスは必ずやってきます。そのチャンスを逃さずつかむ準備をしていきたいものです。そしてチャンスを活かし、素晴らしい一年となることを願っています。

(校長 中原 悟)

2025年元気にスタートしました！

冬季休業を終え、児童生徒の明るく元気な声が響き渡り、本来の学校の姿が戻ってきました。登校するとすぐに、休み中の出来事を友達と楽しそうに談笑する子供たちの姿が見られました。また、各学級では新年を迎えての目標を立て、気持ちも新たにみんなでスタートできました。

昨年末には、いくり苑様より手作りの素敵な門松をいただきました。年明けの1月6日は正門に飾り、年の初めを祝いながら、スタートすることができました。また、12月22日、堀出神社で行われた絵馬奉納式では、9年生代表者2名が参拝し、みんなの分も合格祈願をしてきました。地域の皆様、本当にありがとうございました。



美乃浜学園の子供たちの「善い行い」を紹介します（12月実施・学校評価保護者アンケートより）

平磯駅の電車の乗り降りでもよく挨拶ができています。道路横断の際に車を止めると挨拶をしてくれます。	電車内や道路に落ちていたお金をきちんと交番や駅員さんに届けているお子さんを何人か見ました。	後期課程の子達は通学路を歩いているとよく挨拶をしてくれてとても気持ちがいいです。	上級生が下級生の手を繋いでやり登校する姿を良く見かけ素晴らしい教育だと思っています。
キャンドルナイトでは、子供の動きがとてもよかった。いい学びだと思います。低学年もとても楽しんでいました。	人の目がないところで良いことをしている人もいます。学年の境なく交流しているところをよく見ます。	キャンドルナイトで、お店を担当していた6年生の子供たちの言葉遣いや接客が素晴らしいかったです。	後期生徒が前期低学年の子達に優しく話しかけたりしている所を何度か見た事があり、とても良い環境だと思っています。
目の不自由な人が、8年女子がなかなか道路を渡れずいたので声をかけ、一緒に渡ってあげていました。	同じ登校班の6年女子は、1年生が初登校班の日に名前を聞いて覚えようとしてくれたり、駅についたあと声をかけてくれて1年生の親としてとても頼もしい上級生だなと感じました。	7年男子が娘と登校班を待っている間、率先して挨拶をしてくれています。それを見た他の学生の方も翌日には元気に挨拶をしてくださり、娘が登校しづりをした朝でも元気に登校することができています。	8年男子生徒数名が地域のスポーツ行事に参加した際、初対面の児童にも声をかけ一緒に楽しんでいました。優しい子達で感激しました。

以前、娘が朝の登校時に昇降口付近で転んでしまい、地面におでこをぶつけ大泣きしたときに、近くにいた後期課程の女子生徒さんが娘に駆け寄り「大丈夫？」と声をかけてくれました。その後、昇降口にいる先生に知らせてくれたようで、先生が来てくださりそのまま保健室に行くことが出来ました。朝の急いでいる時間帯に咄嗟にできることではなく、そのときの女子生徒さんには感謝しかありません。